



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月27日

上場会社名 榊本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8052 URL <https://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 瀧澤 准志

TEL 06-4795-8832

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	55,893	8.0	2,636	16.3	2,841	15.8	1,927	16.9
2023年3月期第2四半期	51,737	16.7	2,267	22.9	2,452	19.9	1,649	21.6

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 3,671百万円 (147.0%) 2023年3月期第2四半期 1,486百万円 (15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	307.74	
2023年3月期第2四半期	263.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	86,436	36,931	42.5
2023年3月期	84,474	34,039	40.0

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 36,707百万円 2023年3月期 33,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		30.00		120.00	150.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				120.00	160.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)2023年3月期の期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

配当予想の修正については、本日(2023年10月27日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	0.9	5,000	2.0	5,350	1.6	3,750	2.3	598.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年10月27日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	6,497,969 株	2023年3月期	6,497,969 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	234,097 株	2023年3月期	233,797 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	6,264,033 株	2023年3月期2Q	6,261,972 株

(注)当社は、役員株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	13
・補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源価格の高止まりや中国の景気減速の継続など、前期末の状況から大きな変化もなく不安定なまま推移いたしました。

国内においても、物価高に加え為替相場は一層の円安が進行するなど、経済活動は依然として盛り上がりを欠いており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下において、当企業グループでは、お取引に関わる全ての皆様の安全・健康に配慮しながら、企業活動をコロナ禍以前に戻し、目標に邁進しているところであります。

この結果、豊富な受注残高を概ね納期通りに順調に売上計上することができたことから、当期の売上高は前年同期を上回ることとなり、これにつれ、各利益も期初の予想に比し大幅に増加することとなりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、

売上高	558億93百万円	(前年同期比 108.0%)
営業利益	26億36百万円	(前年同期比 116.3%)
経常利益	28億41百万円	(前年同期比 115.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19億27百万円	(前年同期比 116.9%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約35%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、本部全体の傾向として、前年度までの受注残高を順調に売上計上しており、このうち動伝部品の売上高は、半導体製造装置関連部品が弱含みに推移したものの、部門全体としては前年同期実績を上回りました。また、設備装置関連については、前年同期実績を大きく上回りました。このため、本部全体の売上高は198億34百万円（前年同期比123.3%）となりました。

西日本本部

北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約33%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、重工業向け等の動伝部品は前年同期実績を上回る売上高となりました。設備装置関連の売上高については、前年度までの中国向けの大口売上が完了することにより前年同期実績からは減額しておりますが、その他の設備装置関連の売上高については増額しております。このため、本部全体の売上高は185億33百万円（前年同期比90.7%）となりました。

中日本本部

東海地区が担当エリアであり、全体の売上高の約14%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、コロナ後の営業活動を本格化したことにより、売上高が回復しております。重工業向けや一般機械部品、自動車関連を中心とした動伝部品の売上高は、前年同期実績と比べ増額し、設備装置関連の売上高は、食品業界や自動車関連産業等を中心に活発な受注活動が奏功し、前年同期実績を大きく上回る結果となりました。このため、本部全体の売上高は76億98百万円（前年同期比118.0%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約18%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、海外子会社については、アセアン各国の景況が中国の景気減速の影響を受け、全体に立ち上がりが遅く、その影響からスロースタートとなっております。一方で中国子会社につきましては、日系企業の設備装置需要に対応したことにより売上高が増加しました。マテリアルビジネスにつきましては、介護・衛生関連商品がコロナによる需要が一巡したことにより、売上高は前年同期並みにとどまりました。新規事業であるセンシング・画像処理ビジネスは、新規受注をこなし、順調に売上を拡大しております。このため、本部全体の売上高は98億26百万円（前年同期比113.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は864億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億62百万円増加いたしました。流動資産は5億27百万円減少いたしました。主な要因は、仮払金が7億54百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は24億89百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより24億89百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は495億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億29百万円減少いたしました。流動負債が17億23百万円減少いたしました。主な要因は、前受金が7億16百万円、支払手形及び買掛金と電子記録債務が合計で6億24百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は7億94百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が7億2百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は369億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億91百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を19億27百万円計上したこと、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ上昇したことにより、その他有価証券評価差額金が17億5百万円増加した一方で、配当金の支払い7億58百万円を実施したこと等によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は231億64百万円となり、前連結会計年度末より2億36百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は12億54百万円となりました。この主な原因は、税金等調整前四半期純利益28億41百万円を計上した一方で、法人税等の支払額11億26百万円、前受金の減少7億60百万円等の資金の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は2億75百万円となりました。この主な原因は、固定資産の取得による支出2億45百万円等の資金の減少によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は8億3百万円となりました。この主な原因は、配当金の支払額7億58百万円等の資金の減少によるものであります。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、不良債権の発生を極力抑制するとともに、債権回収の早期化の促進をはかること及び当企業グループ全体の資金効率向上等により資金充実を目指してまいります。投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローは、売上動向の変化に機敏に対応できる効率的な資金調達、運用を念頭に活動してまいります。

なお、当第2四半期連結会計期間末および当連結会計年度末は休日のため、営業債務の決済資金が不要となり従来年度より資金が増額する見込であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界情勢においては、欧米のインフレの継続に加え、地政学リスクによる不安定な状況が各地域で継続すると思われ、国内経済におきましても、資源・原材料価格の高騰や為替変動の影響もあり、当企業グループの業績にも不安定な環境が続くことを想定しております。

当企業グループでは、こういった社会情勢に柔軟に対応した営業活動を通じ、業績拡大に努め、連結中期経営計画の初年度の目標達成に邁進する所存です。また、「ESG」「SDGs」に向けた取り組みをより一層強化しながら、環境関連商品の取扱い種類拡充などにも努め、社会的課題解決にも事業を通じて貢献してまいります。

先行きが不透明な状況下ではありますが、上半期の状況が期初の予想以上に業績が順調に推移したこと、足元の受注状況や受注残高の納期予定などから、通期の業績予想につきましては、当初の予想から修正した以下の業績予想とさせていただきます。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	100,000	4,250	4,600	3,050
今回修正予想 (B)	107,000	5,000	5,350	3,750
増減額 (B-A)	7,000	750	750	700
増減率 (%)	7.0	17.6	16.3	23.0

(通期個別業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	94,000	2,600	4,050	3,100
今回修正予想 (B)	100,000	3,350	4,900	3,850
増減額 (B-A)	6,000	750	850	750
増減率 (%)	6.4	28.8	21.0	24.2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,927	23,164
受取手形、売掛金及び契約資産	27,966	28,801
電子記録債権	12,980	12,632
商品及び製品	2,952	3,097
仕掛品	1,191	928
その他	3,205	2,076
貸倒引当金	△173	△178
流動資産合計	71,049	70,522
固定資産		
有形固定資産	2,055	2,060
無形固定資産	357	366
投資その他の資産		
投資有価証券	9,825	12,314
繰延税金資産	53	47
その他	1,336	1,327
貸倒引当金	△203	△203
投資その他の資産合計	11,011	13,486
固定資産合計	13,424	15,914
資産合計	84,474	86,436
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,592	17,829
電子記録債務	22,987	23,125
未払法人税等	960	764
前受金	4,217	3,501
役員賞与引当金	11	70
その他	960	715
流動負債合計	47,730	46,006
固定負債		
役員株式給付引当金	126	151
退職給付に係る負債	1,804	1,845
長期未払金	211	211
繰延税金負債	330	1,032
その他	231	257
固定負債合計	2,704	3,498
負債合計	50,434	49,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,867	1,944
利益剰余金	26,184	27,353
自己株式	△542	△620
株主資本合計	30,455	31,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,231	4,936
繰延ヘッジ損益	△0	△39
為替換算調整勘定	142	201
退職給付に係る調整累計額	△22	△14
その他の包括利益累計額合計	3,350	5,084
非支配株主持分	233	223
純資産合計	34,039	36,931
負債純資産合計	84,474	86,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	51,737	55,893
売上原価	44,015	47,277
売上総利益	7,721	8,615
販売費及び一般管理費	5,454	5,979
営業利益	2,267	2,636
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	176	195
持分法による投資利益	2	—
その他	24	32
営業外収益合計	206	231
営業外費用		
支払利息	3	4
持分法による投資損失	—	10
支払手数料	4	4
その他	12	7
営業外費用合計	21	27
経常利益	2,452	2,841
税金等調整前四半期純利益	2,452	2,841
法人税、住民税及び事業税	814	962
法人税等調整額	△9	△43
法人税等合計	805	919
四半期純利益	1,647	1,922
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,649	1,927

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,647	1,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△235	1,705
繰延ヘッジ損益	△65	△39
為替換算調整勘定	95	49
退職給付に係る調整額	9	7
持分法適用会社に対する持分相当額	35	25
その他の包括利益合計	△160	1,749
四半期包括利益	1,486	3,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,466	3,661
非支配株主に係る四半期包括利益	20	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,452	2,841
減価償却費	76	118
引当金の増減額 (△は減少)	103	88
受取利息及び受取配当金	△179	△199
支払利息	3	4
持分法による投資損益 (△は益)	△2	10
売上債権の増減額 (△は増加)	3,016	△455
棚卸資産の増減額 (△は増加)	116	133
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,775	△664
前渡金の増減額 (△は増加)	65	393
前受金の増減額 (△は減少)	△646	△760
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△659	771
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	40
その他の資産の増減額 (△は増加)	46	△9
その他の負債の増減額 (△は減少)	△93	△104
その他	4	△38
小計	1,545	2,169
利息及び配当金の受取額	179	199
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△1,254	△1,126
持分法適用会社からの配当金の受取額	5	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	473	1,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△84	△245
投資有価証券の取得による支出	△16	△16
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△16	△9
長期貸付けによる支出	△0	△1
長期貸付金の回収による収入	0	1
その他	△49	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△142
自己株式の処分による収入	4	141
リース債務の返済による支出	△13	△22
配当金の支払額	△758	△758
非支配株主への配当金の支払額	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△768	△803
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△365	236
現金及び現金同等物の期首残高	17,604	22,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,239	23,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式報酬制度「役員株式交付信託」)

当社は、当社の取締役(社外取締役は除く)及び取締役を兼務しない執行役員(以下「取締役等」という)を対象とした株式報酬制度「役員株式交付信託」(以下「本制度」という)を導入しております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」という)が当社株式を取得し、当社が各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役等に対して交付される、という株式報酬制度であります。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、取締役等の退任時であります。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。

当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末181百万円、59,900株、当第2四半期連結会計期間末322百万円、91,100株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	中日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	14,185	11,948	5,999	8,371	40,506	—	40,506
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,904	8,481	523	320	11,230	—	11,230
顧客との契約から生じる収益	16,090	20,430	6,523	8,692	51,737	—	51,737
外部顧客への売上高	16,090	20,430	6,523	8,692	51,737	—	51,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	88	106	170	444	809	△809	—
計	16,178	20,536	6,693	9,136	52,546	△809	51,737
セグメント利益	638	1,535	256	423	2,855	△588	2,267

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,855
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△587
四半期連結損益計算書の営業利益	2,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	中日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高							
一時点で移転される財又はサービス	15,999	14,031	6,863	9,362	46,256	—	46,256
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,835	4,502	835	464	9,637	—	9,637
顧客との契約から生じる収益	19,834	18,533	7,698	9,826	55,893	—	55,893
外部顧客への売上高	19,834	18,533	7,698	9,826	55,893	—	55,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156	695	130	748	1,730	△1,730	—
計	19,990	19,228	7,829	10,575	57,623	△1,730	55,893
セグメント利益	1,121	1,453	448	326	3,350	△713	2,636

(注) 1 各セグメントの主な販売エリア及び所属する子会社は下記の通りであります。
 なお、客先の依頼により納入先が販売エリア外となる場合があり、その場合は担当部門が所属するセグメントにて実績計上しております。

セグメント別	主な販売エリア及び所属する子会社
東日本本部	北海道・東北・甲信越・関東地区及び同地区所在の子会社5社
西日本本部	北陸・関西・中国・四国・九州地区及び同地区所在の子会社5社
中日本本部	東海地区及び同地区所在の子会社1社
開発戦略本部	日本全国・海外及び海外子会社7社

2 各セグメントに属する主要な商品は下記の通りであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
中日本本部	
開発戦略本部	各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材センサ、産業用カメラ・レンズ、画像処理システム

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,350
セグメント間取引消去	△7
全社費用(注)	△706
四半期連結損益計算書の営業利益	2,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

・補足情報

受注、販売及び仕入の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本本部	18,515	△15.5	23,093	△12.1
西日本本部	20,185	+12.0	28,659	+11.7
中日本本部	7,797	+6.0	8,107	+24.1
開発戦略本部	10,069	+6.1	6,771	+17.3
調整額	△1,765	—	△2,848	—
合計	54,802	+0.5	63,784	+4.9

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	19,990	+23.6
西日本本部	19,228	△6.4
中日本本部	7,829	+17.0
開発戦略本部	10,575	+15.7
調整額	△1,730	—
合計	55,893	+8.0

③ 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	16,959	+22.2
西日本本部	15,844	△9.3
中日本本部	6,572	+15.8
開発戦略本部	9,515	+24.6
調整額	△1,730	—
合計	47,160	+7.6